

令和 7 年度使用

中学校用教科用図書研究資料

美 術

令和 6 年 7 月

教科用図書南那珂採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	(1) 美術科の目標を達成するために、絵画・彫刻領域、デザイン工芸領域、及びそれらを補完する学びの資料という大きな3つの内容で構成されており、多くの題材において表現と鑑賞を一体的に扱う工夫が見られる。観察をもとにした表現においては身近なものをスケッチするという平面表現から、同じ平面的な表現としてより高次の題材である人物画へと繋げられており、平面的な表現と立体的な表現を分け、それぞれを系統的に配列している。 (2) 造形的な創造活動を目指すために、生徒作品や制作過程の解説や造形的な視点を広げる鑑賞を取り入れ、生徒の発想や構想につなげることを意識した構成になっている。 (3) 感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を育てるために、「学びの資料」において、作品鑑賞や美術館での鑑賞の方法、展覧会の企画や展示の方法を学ぶことができるとともに、美術史から作品を読み解くなど学年の段階に応じて学んだ内容が深められるように構成されている。
38 光 村	(1) 美術科の目標を達成するために、絵画・彫刻領域、デザイン工芸領域、及びそれらを補完する学習を支える資料（別冊資料が中心）という大きな3つの内容で構成されており、多くの題材において表現と鑑賞を一体的に扱う工夫が見られる。観察をもとにした表現においては、身近なものをスケッチするという平面表現から、同じ観察をもとにした立体的な表現へと繋げられており、平面的な表現と立体的な表現とを一体的に扱う工夫が見られる。 (2) 造形的な創造活動を目指すために、学習を支える資料の解説ページを設け、生徒が造形的な視点について理解し、表現方法を創意工夫することができるような構成になっている。 (3) 感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を育てるため、見開きの特設ページや和紙の質感を取り入れたページを設定することによって、生活や社会の中の美術や美術文化のよさと美しさを視覚的にも触覚的にも体感できるように構成されている。

116 日 文	(1) 美術科の目標を達成するために、絵画・彫刻領域、デザイン工芸領域、及びそれらを補完する学びを支える資料という大きな3つの内容で構成されており、多くの題材において表現と鑑賞を一体的に扱う工夫が見られる。観察をもとにした表現においては、身近なものをスケッチするという平面表現から、同じ観察をもとにした立体的な表現へと繋げられており、平面的な表現と立体的な表現とを一体的に扱う工夫が見られる。 (2) 造形的な創造活動を目指すために、学習を支える資料の解説ページを設け、吹き出し等を用いて、表現に必要な発想や構想の手立てが具体的に配列された構成になっている。 (3) 感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を育てるために、美術作家以外の職種の方（シンガーソングライターやタレント等）の「学びの言葉」を掲載し、社会の中で美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力が育まれるように構成されている。
---------	---

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	(1) 鑑賞と表現活動の相互が効果的に活用できるよう、題材に応じて、キャラクターを生かし、具体的な学習のポイント、気づきや思い付きのヒントが示されているなど、「主体的・対話的で深い学び」を展開するための工夫が見られる。 (2) 内容や指導の充実のために、各題材の学習において、導入用の動画や技法や用具の使い方についての動画をQRコードで示し、知識・技能や制作過程が「美術の用語」のコーナーや図版でわかりやすく提示されている。巻末の「学びの資料」にも横断的に活用できる知識・技能が示されており、生きて働く「知識及び技能」を習得できるような工夫が見られる。 (3) 思考をより造形的に捉えるため、掲載作品とあわせて、「作者のことば」やアイデアスケッチなどを掲載されている。各巻末の「学びの資料」には発想・構想及び鑑賞の参考となる内容が提示されており、「思考力、判断力、表現力等」を育成できるような工夫が見られる。 (4) 生徒が主体的に学習に取り組むために、QRコードを読み込むことで授業の導入から発想の広げ方、ふり返りまで活動を支援できるようになっている。各巻頭には美術を学ぶ意味などについて生徒に考えさせ、巻末は各学年及び中学校美術科の学習をふり返ることができる構成になっており、「学びに向かう力 人間性等」を育成できるような工夫が見られる。

38 光 村	(1) 鑑賞と表現活動の相互が効果的に活用できるよう、生徒の思考を促す問いかけが「POINT」として示されるとともに、制作過程が見える「みんなの工夫」が掲載されており、「主体的・対話的で深い学び」を展開するための工夫が見られる。 (2) 内容や指導の充実のために、各題材の学習において、導入時に役立つ生徒作品例や作者の思いなどをQRコードで示し、その制作過程については図版で、技法等の横断的に活用できる知識・技能については、別冊資料やその中のQRコードで示している。生徒が必要に応じて参照できるように工夫されており生きて働く「知識及び技能」を習得できるような工夫が見られる。 (3) 思考をより造形的に捉えるため、多くの生徒作品や制作過程を掲載しており、生徒が自分事として意識できる配置がなされている。また、「作者の言葉」やアイデアスケッチなどから生徒の価値観など、「思考力、判断力、表現力等」を育成できるような工夫が見られる。 (4) 生徒が主体的に学習に取り組むために、表現と鑑賞の活動が見出しで示され、学びの流れを明確にしている。また、生徒が親しみやすい作品を選定されていたり、鑑賞に対する問いかけが設定されていたりするなど、生徒が意欲をもって主体的に学習に取り組み、「学びに向かう力、人間性等」を育成できるような工夫が見られる。
---------------	--

116 日 文	(1) 鑑賞と表現活動の相互が効果的に活用できるよう、実際の授業の画像が用いられ、対話を通して思考力を働かせ、学びを深めることができるような工夫など、「主体的・対話的で深い学び」を展開するための工夫が見られる。 (2) 内容や指導の充実のために、各題材の学習において、導入や制作過程についての動画をQRコードで示している。また「造形的な視点」や「表現のヒント」を示すことで、生徒の活動の充実を図り、材料や用具の取り扱い等の横断的に活用できる知識・技能については、巻末の「学びを支える資料」にまとめて示すなど、生きて働く「知識及び技能」を習得できるような工夫が見られる。 (3) 思考をより造形的に捉えるため、完成された作品や写真、アイデアスケッチなどを用い、発想・構想が、鑑賞と表現の双方向から取り組める工夫がなされている。また、作者の言葉を掲載し、より発想・構想を広げ深め、「思考力、判断力、表現力等」を育成できるような工夫が見られる。 (4) 生徒が主体的に学習に取り組むために、各巻で題材のページの見方や使い方を説明している。また、学習の内容ごとに目標やねらいを分かりやすく示しており、さらに美術を通して、これからの生活や生き方に繋がるような言葉や話が紹介されているなど、「学びに向かう力、人間性等」を育成できるような工夫が見られる。
---------	--

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	(1) 表紙は、立体・絵画の代表作品が掲載され、生徒が触覚から関心が高まるような特殊加工を施し、教科書への興味・関心をもたせる工夫がされている。巻頭には、今までの学習が、今後の学びとどうつながるか振り返り、生徒の学習の目的や意義を確認するための問いや解説が、思考に応じた吹き出しによって表現され、生徒の主体性を高める工夫がされている。補助資料としては、巻末に「学びの資料」を設け、表現や鑑賞の参考となる資料に加え、「著作権を知ろう」や「持続可能な未来へ」についてスポットを当てて集約されるなど、3年間を通し、2分冊構成の教科書で学びの支援が図られている。 (2) 学習効果や利便性の向上のために、各題材において、はじめに学力の3つの要素に対応した学びの目標が示されている。導入段階では表現につながる鑑賞作品が掲載されており、QRコードにより発想や構想、表現方法への手がかりを得たり、多

	くの生徒作品を鑑賞したりすることができるようになっていく。また、「知識・技能」「発想・構想」「鑑賞」の小見出しによって、その活動でどのような資質や能力を目指すのかが示されているなど学習効果や使用上の利便性を高める工夫が見られる。
38 光 村	(1) 表紙は、西洋・日本の代表作品が掲載され、裏面のバーコード表現に関連したイラストが描かれるなど教科書への興味・関心をもたせる工夫がされている。巻頭には、2巻ともに共通して「うつくしい！」という「詩」と共に、美術と身近な生活や社会とのつながりを気づかせ、さらに、教科書を活用する手立てとして、各題材ページの見方についての解説を示し、生徒の主体性を高める工夫がされている。補助資料としては、別冊及び巻末にて、描く、つくるにおける材料・用具の使い方や表現方法、写真、映像、発想・構想、形・色・光、色について集約されており、3年間を通し、2分冊構成の教科書で学びの支援が図られている。 (2) 学習効果や利便性の向上のために、各題材において、はじめに学力の3つの要素に対応した学びの目標が示されている。導入段階では表現につながる鑑賞作品が掲載され、QRコードによって多くの生徒作品を鑑賞できるようになっている。画像や吹き出しによって制作過程が示され、題材によっては、QRコードによって、その作品への作者の思いを知ることができるようになっている。また、他教科とのつながりが理解できるようなコラムが設けられるなど学習効果や使用上の利便性を高める工夫が見られる。
116 日 文	(1) 表紙は、西洋・日本・現代美術の代表作品が掲載され、表紙から裏表紙にわたって作品が掲載されており、オリエンテーションの鑑賞教材としても活用できるなど教科書への興味・関心をもたせる工夫がされている。また、3年間の発達の段階に合わせて系統立てられた学年ならではの題材が工夫され、生徒の主体性を高める工夫がされている。補助資料としては、巻末に「学びを支える資料」を設け、各学年のねらいに関連した知識及び技能の習得に加え、「多様性と共同制作」「社会と関わる美術」についてスポットを当てて集約されるなど、3年間を通して、3分冊構成の教科書で学びの支援が図られている。 (2) 学習効果や利便性の向上のために、各題材において、はじめに学力の3つの要素に対応した学びの目標が示されている。導入段階では表現につながる鑑賞作品が掲載されており、QRコード内の動画を視聴することによって活動内容や目的をイメージできるようになっている。また、表現段階では「表現のヒント」によって発想を広げたり、「造形的な視点」によって

	思考を焦点化したりすることで、授業の流れを捉えやすくするなど学習効果や使用上の利便性を高める工夫が見られる。
--	--

4 地域の願いや思い、生徒の実態等

〔観点4〕 家庭や地域と連携した学習の推進とともに、生徒の確実な基礎・基本の定着という視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	(1) 家庭や地域と連携した学習の推進のために、地域に根ざした伝統工芸品を紹介するなど、地域に目を向けさせるための工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、巻頭において、近年公開された生徒にもなじみの深いアニメーション映画を紹介することで、自分の心の中にあるものを表現することの大切さや、それに伴う喜び、そして、それを享受することの喜びが人の心を豊かにすることを説き、そのことが、漫画と他の美術との関わりのように、人にとって、時代を超えて脈々と息づく大切な営みであり、文化の継承でもあることを訴えている。美術を、「心躍らせるもの」、「人生を彩り、人の心や社会を豊かにするもの」と捉えることができる。
38 光 村	(1) 家庭や地域と連携した学習の推進のために、地域の美術館や芸術祭を紹介するなど、地域に目を向けさせるための工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、巻頭において「美しい！」という詩とともに、美しいものを探す中学生の姿や身近に存在する美しい風景を紹介し、身近にある美しいものに気づき、それを心にインプットするところから美術がスタートすることを説いている。さらに、先ほどの詩の続きを紹介しながら表現することの大切さと、時に、SDGsのような社会問題の解決にさえ力を発揮し得る表現の多様性やメッセージ性について訴えている。美術を、「心つなぐもの」、「人生に寄り添い、人の心や社会に希望の灯を灯すもの」と捉えることができる。
116 日 文	(1) 家庭や地域と連携した学習の推進のために、地域の祭や伝統工芸品を紹介するなど、地域に目を向けさせるための工夫が見られる。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、巻頭において、点描技法で描かれた名作を掲載している。点描技法は視覚認識や色彩理論にまで踏み込んだ技法であり、構図、色彩、光を緻密に計算することで生まれた点描技法の作品を紹介することで、美術ならではの気づきやものの見方、考え方の大切さを説いている。個性に裏付けられた表現の多様性や、問題を提起する力

	や新たな価値の創造といった美術のもつ可能性について訴えている。美術を、「心閃かせるもの」、「人生を切り開き、人の心や社会を未来へと導くもの」と捉えることができる。
--	--